

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>Phenom Unleashed 3.0</b> フェノムアンリッシュド 3.0	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.53</b>	ΔRG <b>0.047</b>	●ピン ★PAP ✕CG ●バランスホール

テスト対象ボール

フレアーの幅: inch

PAP-ピンの距離 **5 1/4 inch**

表面加工  
箱出し状態 加工  
ペーパー 番 ポリッシュ  
 研磨剤

比較用ボール

フェノムアンリッシュド II

PAP-ピンの距離 **5 1/4 inch**

表面加工  
箱出し状態 加工  
ペーパー 番 ポリッシュ  
 研磨剤



ローリングタイプ (ローラー) 回転数 (回転)

レーンコンディション  
 早い ▼ 遅い  
 手前のコンディション  
 オイル厚い ▼ オイル薄い  
 奥のコンディション  
 キャリーダウン ▼ かなり切れている

オイル長さ **41f**

メンテナンスマシン  
サンクション ツインスター シャトル 手引き  
その他

ボールの評価

スキッド長さ: 長い ● ★ 短い

手前の転がり: よく転がる ● ★ 空スベリ

バックエンドリアクション: SHARP ● ★ ARC

曲がり幅: 大きい ★ ● 小さい

ピンアクション: 良い ● ★ 悪い

安定度: 良い ● ★ 悪い

キャリーダウン: 強い ● ★ 弱い

オイルキャッチ: 強い ● ★ 弱い

数値的な変更はないが、カバーストックの添加物・配色の変更により、フェノム 3.0の方がややスキッドは短く、手前からのトラクションを感じる。フェノム II から定評のあった Morpheus Core と Fang Particle RF との組み合わせは非常に安定感があり、しっかりと転がりをみせ、今回もフェノム II 同様、扱い易いボールに仕上がっている。

このボールはさまざまなコンディションでリアクションの変化が少なく、安定してポケットヒットしやすいのが最大の特徴でしょう。リアクション特性はマイルドなアークとシャープの中間。ピンアクションはフェノム II の良さは継承しています。

安定感に優れており、フェノム II を数多くのプロボウラーがトーナメントで使用しているのを見かけています。今回のフェノム 3.0 も数多くのプロボウラーが使用するものと思われ、そのスペックの優れた性能は、1ピンを争うトーナメントという場で立証されています。

ミッドエリアからのコントロール性能と安定した軸移動によるリアクションは、キャリーダウンにも優れたコントロール性は保たれ、コンディションを正確に読み取ることのできる基準として位置づけできるボウルでしょう。前回、気に入ってフェノム II を使用して頂いた方、是非、フェノムアンリッシュド 3.0をお試し下さい。

**特記事項** 安定感に優れたフェノム II が新たなバージョンで蘇りました。売り切れ必至につき、是非、早めにご注文ください。